



# 井上さちこ通信

みなさまと一緒に歩みます 令和3年(2021年)夏号

井上さちこ応援団：廿日市市福面 3-14-14 討議資料

Eメール：luckey@network.email.ne.jp HP：http://www.inoue-sachiko.com/

新しい生活様式を取り入れながら、  
人との絆を大切にしたいですね。

初心を忘れないように、5年前から毎週月曜日に阿品台交差点で挨拶運動をしています。公職選挙法上名前を出せないなので、ピンクの服と旗でご挨拶です。

## 民間提案制度と阿品公園 住民の皆さんが整備されている美しい公園



今年3月行われた市議会議員選挙のときに、阿品公園利用者の皆さんからご相談があしました。民間提案制度や女子野球タウン構想に反対はしないが、阿品公園は利用者が木や花を植え、グラウンドの整備も行ってきた。住民への説明もなく、構想が発表され私たちの利用が制限されるのでは、という不安を訴えられました。住民の皆さん自身で多くの議員にも呼びかけ、また住民説明会も要望し、4月に、阿品台東中学校体育館で大規模な説明会が開かれ、市は阿品公園を候補地とする案を撤回しました。(現在、他の公園を候補にしてお願ひしているとの説明がありました。業者の方へも市は迷惑をおかけした結果となりました。)

8月2日、総務文教委員会で「民間提案制度」について市から説明を受けました。井上さちこは、①案件が住民の暮らしに大きな影響を与える時には協定書締結前に、住民説明が必要 ②予算を伴わなくても、新規事業であれば、議会への説明をするよう手順の改善をすること ③民間提案制度は、随意契約であり、また20年以上の長期契約案件もあるため、行政だけのスタッフで業者との契約を済ませず、長期にわたる経理がわかる金融機関など有識者を入れた構成とすることなどを質問しました。

## 令和3年7月21日宮島訪問税、総務省同意。令和5年から観光客1人100円



宮島島民を除く観光客などからフェリー乗船料に1人100円を上乗せして徴収します。新しい券売機や自動改札機の導入などで令和5年度中からの徴収を目指しています。市は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮するという考えですが、私は「原因者課税」という観光客による行政サービスの増大を課税の理由としている以上、準備が整い次第、徴収すべきと考えています。また、28年間宮島町役場で仕事をしましたが、親の介護で宮島を訪れる子どもたちの姿が印象に残っていたため、「年間パスポート(1年1人500円)」制度を提案した結果、導入されました。

### 今年5月から議会運営委員長に就任。委員長として取り組むこと

- ① 議会は議員定数調査特別委員会を設置しました。私の所属する新政クラブでは、現28人から24人へと削減を提案しました。市の人口減少の中、少数精鋭の議会が望まれます。また、現在の常任委員会数4を議員が多くの議案に係れるよう3委員会にと提案しました。
- ② 平成25年にできた議会基本条例の見直しと、またこの度の「河井事件」では、廿日市市議会議員政治倫理条例上、明らかに政治倫理基準に反する疑いがある議員がいても、議員が審査請求をしなかったことで、条例が活かされませんでした。  
議員自身が作ったこの2つの条例の再検討をします。

### 井上さちこの令和3年6月議会の一般質問「生理の貧困」について(要旨)

本年3月に大学生らが立ち上げた団体「#みんなの生理」が、若者へのネット調査をした結果、5人に1人が「経済的な理由で生理用品を買うのに苦労した」と答えています。本市も6月1日から小・中学校、市役所などで配布するが、① 配布対象者への周知方法は？また配布時には人権擁護の配慮を ② 配布対象に廿日市市内の大学、高校がないが、対策はしないのか ③ 配布数が200セットでは、少ない。民間団体や市民から生理用品の寄付の申し出があった場合の協力体制について、考えているのか。④ この事業の継続化について、考えているかなどを問いました。

#### 井上さちこの市民活動



#### 昨年の女性議員クラブ総会の様子



令和2年度の総会で、広島県女性議員クラブの会長を拝命しました。令和2年8月現在、県内の女性議員は61名です。任意参加のクラブですが、女性議員で意見をまとめて、暮らしが良くなるように頑張っていきたいと思っています。



平成16年から仲間と共に乳がんの早期発見・早期治療のピンクリボン・キャンペーンに取り組んで、今年で17年目になりました。大切な人のために、すすんで乳がん検診を受けましょう！



廿日市市女性連合会の会長として、広島県地域女性団体連絡協議会の活動に参加しています。今年、活性化委員会委員に任命されました。女性の視点を活かして、市町で取り組むべきことを首長に提案して行くことを提案しました。

井上さちこは、いのちをまもる政治に取り組みます。